

Viking Lander 2搭載地震計データ復元の現状

Current status of data restoration of the seismometer onboard Viking Lander 2

*山本 幸生¹、山田 竜平²*Yukio Yamamoto¹, Ryuhei Yamada²

1.国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所、2.自然科学研究機構国立天文台

1.The Institute of Space and Astronautical Science, 2.National Astronomical Observatory of Japan

1975年に打ち上げられたViking Lander 2には地震計が搭載された。40年が経過した現在も、人類が保有する唯一の火星における地震計データである。このデータは火星での地震活動を発見するに至らなかったが、データそのものが整備されておらず、検証を行える状況になかった。我々はこの地震計データの復元を試み、過去の論文で図示されたデータと一致する結果を得ることができた。これを元に全データを処理したところ、源泉データに幾つかの問題点が存在し、そのままでは科学解析を行う上で前処理として多大な労力が必要となることが判明した。本研究では、これらの課題を克服し、新しいデータセットを提供することを目的とし、データ処理を進めている。

キーワード：ヴァイキング、地震計、データ

Keywords: Viking, Seismometer, data

